

千葉県誕生150周年記念 企画展 「アーツ・アンド・クラフツとデザイナーウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」 3月24日（日）まで

県立美術館

千葉県誕生から150周年を迎える本年、県立美術館では、今から約150年前の千葉県誕生と同時期に、イギリスのウィリアム・モリスとその仲間たちを発端として世界各地に波及したアーツ・アンド・クラフツ運動の広がり多様性を紹介する。

1 アーツ・アンド・クラフツ運動とは

産業革命の波が押し寄せる19世紀、急速な工業化によって人間が持つ創造性が奪われていくことに反発したイギリスのウィリアム・モリス（1834-1896）とその仲間たちは、中世の手仕事によるものづくりに立ち返り、生活と芸術の統合を目指した活動を始める。モリスらの活動に感化された多くのデザイナーや建築家たちは、「アーツ・アンド・クラフツ運動」と呼ばれる一連の運動を発展させ、やがてその影響はイギリスを超えて世界各地へと広がっていく。



ウィリアム・モリス《ガーデン・チューリップ》1885年、
Photo ©Brain Trust Inc.

特にアメリカでは、ガラス作品の製造で知られるティファニー・スタジオや、アーツ・アンド・クラフツ運動における機械の重要性を唱えた建築家フランク・ロイド・ライト（1867-1959）などを中心に、多様な広がりを見せた。また、千葉県ゆかりの作家である浅井忠をはじめ、当館の所蔵作家にもアーツ・アンド・クラフツ運動が及ぼした影響は大きく、千葉県の文化芸術の発展に寄与している。

2 展示と関連イベント

本展では、アーツ・アンド・クラフツ運動を牽引したイギリスとアメリカの作家たちによるテキスタイル、壁紙、家具、ガラス製品、宝飾品、書籍など約140点の他、同運動の影響を受けた県ゆかりの作家の作品を通して、今日のライフスタイルにも大きな影響を及ぼしている「優れたデザインと質の高いものづくりが生活を豊かにする」という運動の理念を紹介する。

会期中には、展覧会の図録を監修した大阪大学名誉教授の藤田治彦氏による講演会の他、暮らしにまつわる小物を実際に作ってみるワークショップなど、アーツ・アンド・クラフツ運動への理解を深めるさまざまなイベントを開催する。また、展示に関連するグッズを扱う特設ショップもオープンし、展覧会をより楽しんでいただける。

暮らしを彩るデザインの魅力を再発見できる本展覧会に、ぜひお出かけいただきたい。

企画展示

「マリンサイエンスギャラリー アサクサノリ2ーノリの世界ー」

2月23日（金・祝）～5月6日（月・休）

県立中央博物館 分館海の博物館

日本人になじみの深い食材、海苔。原料となる海藻のノリの生きている姿を見たことがあるだろうか。

海の博物館では、平成18年度に企画展示「マリンサイエンスギャラリー アサクサノリーノリの自然誌ー」を開催し、ノリという生きものの姿やその不思議な生活について紹介した。それから17年、ノリの研究は更に進み、新たな知見が蓄積されてきている。

本企画展示では、乾海苔の代名詞「浅草海苔」の原料として江戸時代から養殖されているながら、現在では絶滅危惧種になっているアサクサノリを中心に、ノリという生きものの世界を紹介する。最新の研究成果を含めたノリの面白さと、それを取り巻く環境問題などに関心を持つきっかけとしていただきたい。

1 ノリの基礎知識

ノリは海藻の仲間である。海藻の定義やその中でノリがどのグループに属するのか、どのような生活を送っているのかなど、生きものとしてのノリの基礎的な情報を紹介する。

2 ノリはいろいろ！

ノリは1枚の葉っぱのような単純な体をしているが、世界で150種以上、日本では31種もの種類が発見されている。雑種ができたり、体の特徴は同じなのにDNAでは種類が異なるくらい離れている個体が見つかったりするなど、大変多様性の高い生きものである。2021年に千葉県で見つかった新種センジュアマノリをはじめ、日本のノリ全種類を紹介する。

3 絶滅危惧種アサクサノリは、今

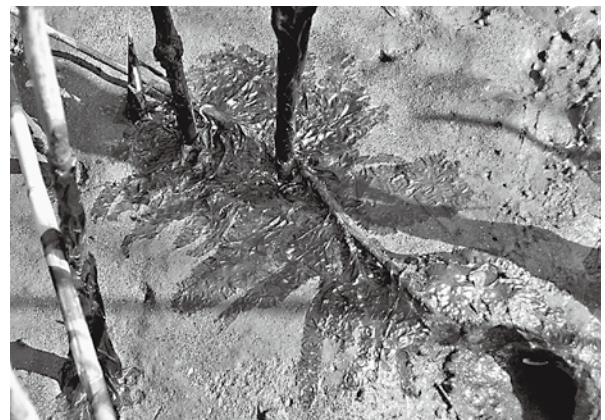
江戸時代から養殖されてきたアサクサノリは、その生育地である河口周辺の干潟の減少とともに、1990年代後半には絶滅危惧種と判断された。

特に東京湾では絶滅したとされていたが、2004年、当館の調査により多摩川河口の干潟で再発見され、マスコミ等にも取り上げられるなど注目を集めた。その後の継続的な調査でわかってきたアサクサノリの生育地の特徴や生育状況の変化、保全活動などについて紹介する。

4 ノリ養殖の今

ノリ養殖は日本各地の内湾で行われる重要な産業で、千葉県の東京湾側でも盛んに行われている。しかし、近年、温暖化に起因するとされる生産量の減少や、魚・鳥による食害など、さまざまな問題にさらされている。

千葉県のノリ養殖を例に、その課題と漁業者やノリ研究者によって進められている対策を紹介する。



東京湾多摩川河口干潟で種子植物のヨシの根元に生える絶滅危惧種アサクサノリ